

# 祝百寿 柳田キクノさんが100歳に



晴れやかな笑顔のキクノさん

3月5日、柳田キクノさん（茶屋場）が100歳の誕生日を迎え、鈴木重男町長が自宅を訪問して祝い状と祝い金、花束を贈りました。

キクノさんは大正12年生まれ。冬は盛岡市内で家族と過ごしますが、春から秋までは自宅でひとり暮らしをしています。3人のお子さんが「スーパーパーおばあちゃん」と呼ぶほど元気いっぱい、98歳までマツタケ採りに山に登り、パークゴルフにも励みました。現在も身の回りのことは自分でこなし、冬の間はたくさん塗り絵を仕上げるなど精力的。社交的で友だちも多く、デイサービスでおしゃべりするのを楽しみだそうです。「葛巻で生まれ育って100歳になりました。今日はとっても幸せです」と少し涙ぐみながら話してくれました。



くずまき交流館プラトー ☎66-0555

## ★夏野菜とモッツアレラチーズ入り味噌ミルク仕立て

フェットチーネ（幅広の平打ちパスタ）を使用。スパイスを効かせたスープに肉みそ、季節の夏野菜を合わせた。粉チーズやクミン、コショウなどで味の変化も楽しめる。

## ★恵ブレッド（カレー味）

人気商品の恵ブレッドをチーズと相性の良いカレー味に。



## ★赤ワイン入りトマト仕立て冷製カッペリーニ

カッペリーニ（極細のパスタ）に赤ワイン（ナドレー）やくずまき高原牛乳などを使用したトマトソースを合わせた。粉チーズやタバスコを加えて楽しめる

## ★ハッシュドビーフ

くずまき高原牛を赤ワイン（ナドレー）でじっくり煮込み、子どもから大人まで食べやすい味に

## 第3セクター各社が新商品を発表

# ひんやり・つめたい くずまき鍋

くずまき交流館プラトー、森のこだま館、グリーンテージの3店舗が「冷やしくずまき鍋」と特産品を使用した新メニューを開発し、2月27日にお披露目しました。いずれも料理研究家の小野寺恵さん（盛岡市）の監修を受け、新たな食の魅力として町の賑わい創出につながることを期待されます。

※冷やしくずまき鍋は4月から提供します。詳しくは各店舗にお問い合わせください。



グリーンテージ ☎66-3000

## ★スタミナ味噌冷やしかけ

ニンニクを効かせた味噌味のスープに郷土食の小麦かけけを使用。くずまき高原牛のローストビーフやたっぷりの野菜を贅沢に載せた

## ★クレームキャラメル

くずまき高原牛乳を使用したフランス版のプリン。手軽に食べられるデザート



会長就任のあいさつをする鈴木町長と総会に出席した構成団体の皆さん



くずまきワインをテイastingする参加者

日本山ぶどうワイン協会は、全国の山ぶどうワインの醸造や原料生産者などが連携し、産地の特性を生かした高品質な山ぶどうワインの醸造と販路拡大、さらには国産ワインとしての地位の確立を図ることを目的に設立されました。会員には本町、野田村、小坂町（秋田県）および山ぶどうワインの醸造所6社が日本山ぶどうワイン協会を設立し、鈴木重男町長が初代会長に就任しました。

坂町（秋田県）および山ぶどうワインの醸造所6社の理事のほか、賛助会員に生産者団体など21団体が名を連ね、設立総会には約70人が出席しました。初代会長に就任した鈴木町長は「日本固有種の山ぶどうは私たちの宝です。全国、世界からワインの愛好家が訪れる産地を目指し、輪を広げていきたいと思います。」とあいさつしました。

また、ホテルニューオータニの中島眞介さん（常務取締役・総料理長）と谷宣英さん（エグゼクティブシェフ・ソムリエ）が、「山ぶどうワインの魅力と可能性」と題して講演を行いました。中島さんは「ワインと料理は切っても切れない。料理人とワインの作り手のつながりをどんどん広げてほしい」と展望を語り、谷さんは「以前テイastingした時より香りや味わいが格段に良くなっている。さら



山ぶどうワインの魅力語る谷さんとワインの味を吟味する中島常務取締役

に洗練されることで世界市場で花開くと思う」と各社の山ぶどうワインを評価していました。同協会は今後、山ぶどうワインの認知度の向上やブランド化を図るため、「日本山ぶどうワインコンクール」の開催（7月、小坂町）などを予定しています。



日本山ぶどうワイン協会設立

# 全国に山ぶどうワインの輪

3月4日、葛巻町、野田村、小坂町（秋田県）および山ぶどうワインの醸造所6社が日本山ぶどうワイン協会を設立し、鈴木重男町長が初代会長に就任しました。

## ■日本山ぶどうワイン協会理事

葛巻町／野田村／小坂町（秋田県）／(株)岩手くずまきワイン／(株)のだむら涼海の丘ワイナリー／小坂まちづくり(株)小坂七滝ワイナリー（秋田県）／庄内たがわ農業協同組合月山ワイナリー山ぶどう研究所（山形県）農業生産法人ひるぜんワイナリー（岡山県）(株)白山やまぶどうワイン（福井県）

## カラマツの魅力を広く発信

10月～12月、町産業振興協議会主催の「くずまきカラマツフォトコンテスト2022」が開催されました。美しく黄葉したカラマツの風景など78点の作品がSNSに投稿され、町の魅力のひとつとして全国に広く発信されました。最優秀賞には齋藤弘樹さん（盛岡市）が輝きました。そのほかの入賞作品はInstagram [karamatsu\_kuzumaki] で紹介しています。☎農林環境エネルギー課☎65-8985



《最優秀賞》 齋藤弘樹さん  
カラマツとオリオン座